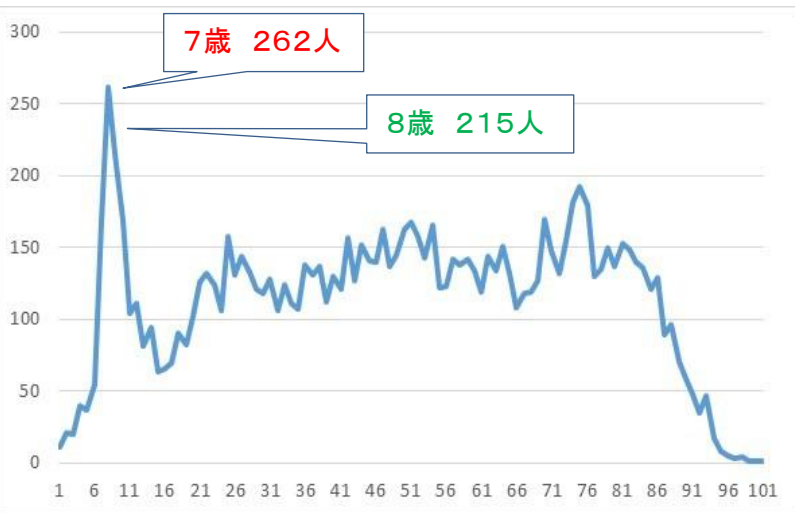


保護者・先生の皆様へ

大切な子ども達を

交通事故から守りましょう！

【年齢別】歩行中の交通事故死傷者数(福岡県:過去5年)



※ 過去5年とは、令和3年から令和7年までの間をいう。

県内の歩行中の交通事故死傷者を年齢別に見ると、左のグラフのとおり

7歳児が最多

で、次いで8歳児が多くなっています。

小学1年生は、新たに交通社会に参加することになりますが

○ 道路上の危険についての知識がまだ未熟

○ 一人で行動する範囲が広がる

ことから、事故に遭う危険性が高くなります。

保護者の皆様は、お子様の**通学路**やよく通る道と一緒に歩いて、**子どもの目線**で危険を確認し、道路を横断する際は、「止まって、見て、手をあげるなど合図を出して、待って」渡るを習慣付けるなど、日常生活の中で**交通ルール**について**繰り返し教育**をお願いします。

詳しくはコチラへ →

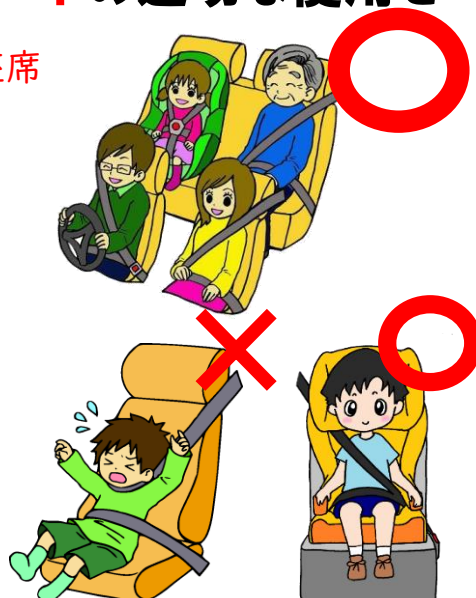


※ 県警ホームページに「**子どもの交通事故防止**」に関する情報があります。

～車に乗る際は、シートベルト・チャイルドシートの適切な使用を～

- 一般道路、高速道路を問わず、**後部座席を含む全ての座席**でシートベルトを着用することが義務付けられています。事故に遭った際の衝撃は全座席に及びます。**後部座席もしっかりとシートベルトを締めましょう。**

- シートベルトは成人用に作られています。このため、子どもがチャイルドシートを使用せずシートベルトを装着した場合、衝突時に体を適切に保護できず、首等に重大な傷害が発生するおそれがあります。**6歳以上であっても、体格等の事情により、シートベルトを適切に着用させることができない場合は、チャイルドシートを使用しましょう。**



福岡県警察